

「焦る気持ちが 事故招く ゆとりを持って 安全運転」 平成30年度最優秀交通安全標語

年始は車を運転する機会が多いため、特に安全運転をお願い致します。

さて、路面上には事故を未然に防ぎ、交通が円滑に流れるように道路標示が描かれています。しかし、標示の意味を理解していないと、交通事故を招く危険性があります。

今月は、どのような標示があり、それぞれどのように通行すればよいのかをみてみましょう。

I. 道路標示の意味を理解しよう

1. 標示とは

・標示には、事故を防ぐために流れを規制する「規制標示」(図1)と、交通が安全で円滑に流れるように指示したり、通行できることを示している「指示標示」(図2)があります。

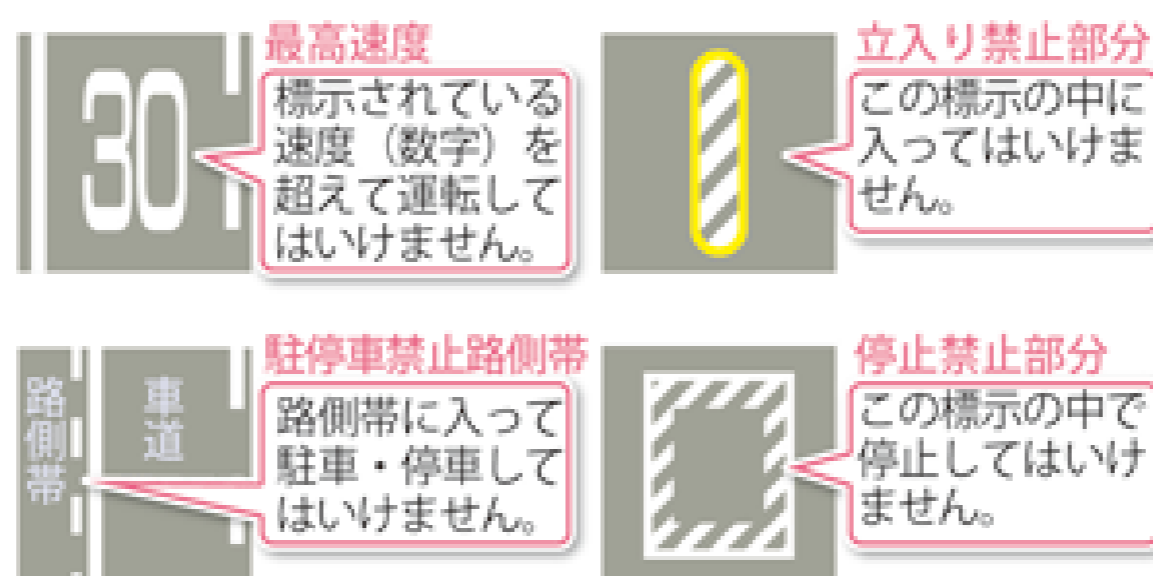


図1: 規制標示

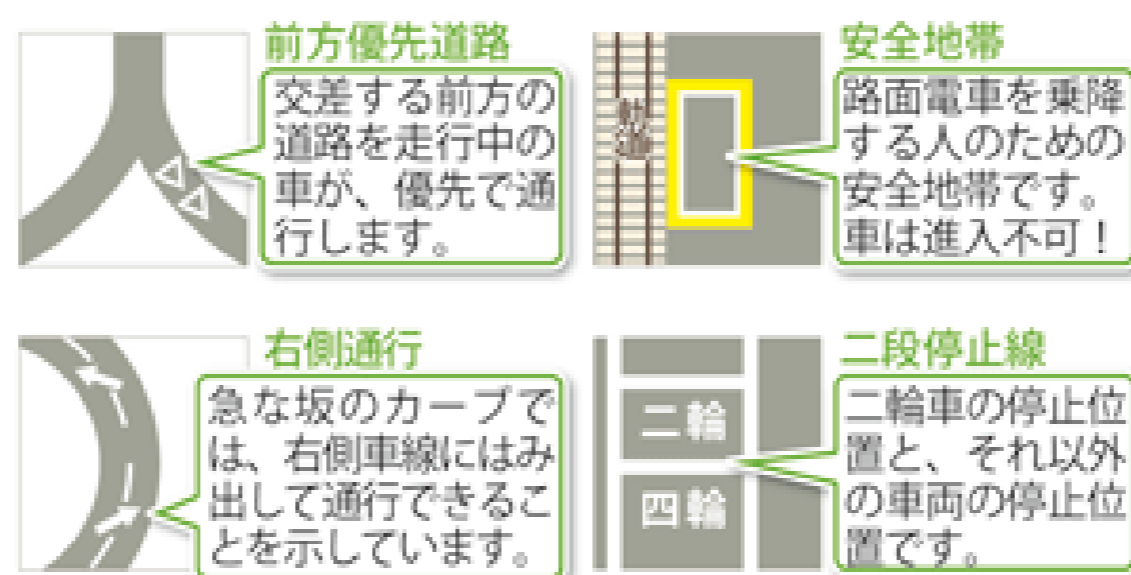


図2: 指示標示

2. 標示を理解しましょう

・路面で標示がどのように描かれていて、安全に通行するためにはどのようにすればよいかをみてみましょう。

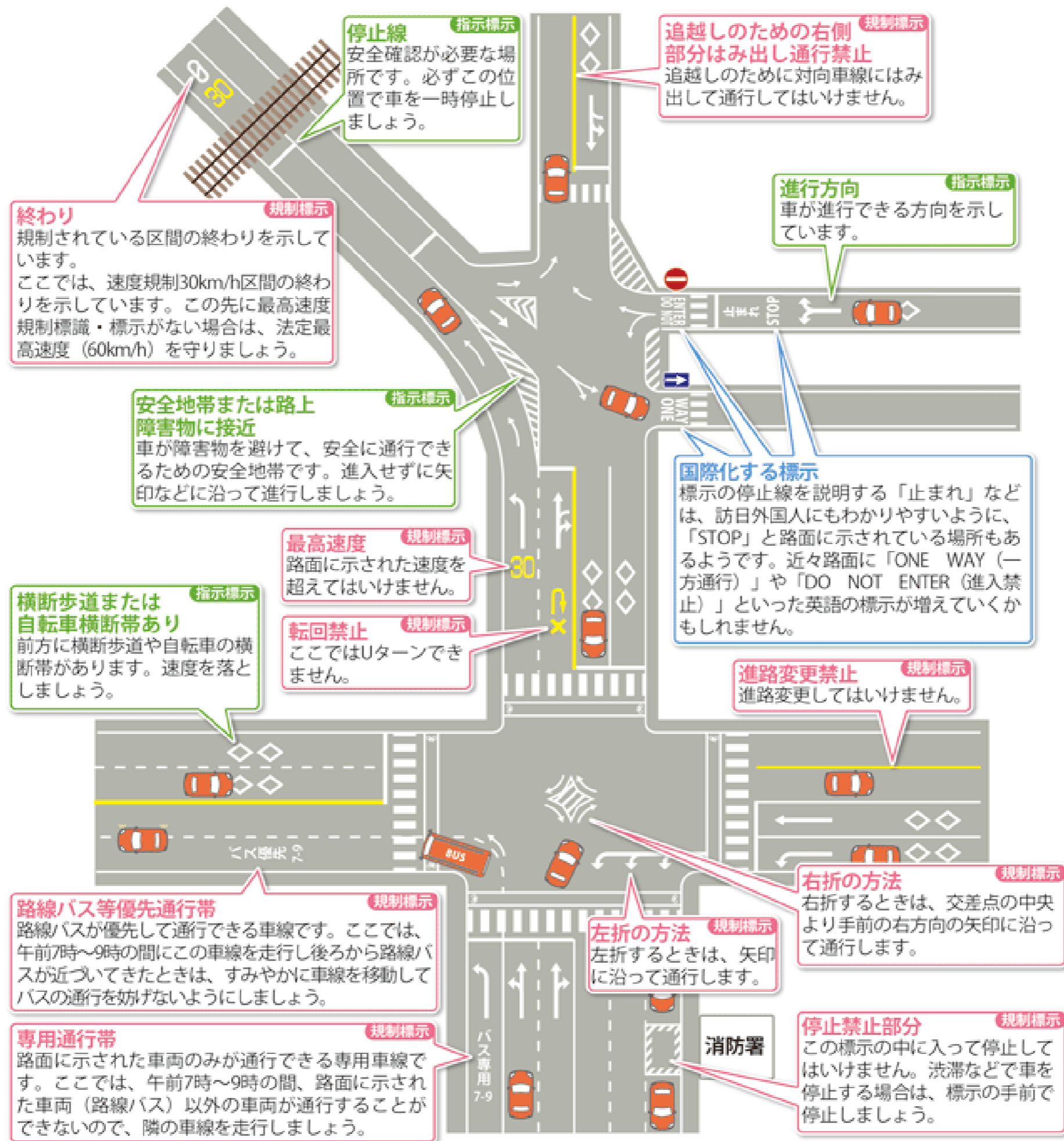


図3:路面に描かれる標示の種類

★路面の標示の意味を理解して、規制や指示に従い安全に通行しましょう。

II. 今月の交通ヒヤリハット

・事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	帰宅途中
どこで	一般道路で
何をしている時に	脇道の多い道路を直進している時に
どうなった	脇道から郵便配達バイクが進行方向の目の前に出てきたために、急ブレーキで停止した。ヒヤリとした。

III. 今月のスローガン（企業開発センター交通問題研究室）

家庭と職場で誓います
無事故・無違反 この1年